

校訓について

皆さん、おはようございます。ゴールデンウィークは、楽しめたでしょうか。本日は、まさに3年ぶりに、このような形で、皆さんと面と向かって、月頭訓話を実施することができて、大変うれしく思います。

まず、皆さんは、月頭訓話とは、何であるか、ご存知でしょうか。月頭訓話とは、校長から皆さんへの訓話、すなわちメッセージで、本校の伝統として、毎年5回程度行われています。内容については、皆さんが学校生活を送るうえで重要なこと、これから皆さんが未来を生きていくために、知っていただきたいことなどを、お伝えしています。

本日は、私からお話させていただきますが、今後は、私以外の方が話すこともあると思います。もし、皆さんから、こんな人から、こんなお話が聞きたいなどのリクエストがあれば、可能な範囲で検討したいと思いますので、ぜひお知らせください。

さて、本日は、新学期になってから、初めての月頭訓話ですので、改めて、本校の基本に立ち返り、校訓のお話をさせていただきますと思います。

皆さん、本校の校訓は、「至誠一貫」、「協同一致」、「規律厳守」の3つです。この3つの校訓は、それぞれに大事な意味を持ちながら、それぞれが相互に関連し合っています。私は、とても素晴らしい校訓だと思っており、本校にいる間はもちろん、皆さんが、本校を卒業してからの人生においても、正しく歩んでいくための、心のよりどころとなるものであると信じています。

まずは、至誠一貫について、お話します。「至誠一貫」は3つの校訓の中でも、特別な存在です。なぜなら、「至誠一貫」は、本校の建学の精神、すなわち、本校の根幹をなすものだからです。「至誠一貫」とは、その名の通り、「誠」の状態であることを貫き通す、ということで、常に自分の心を「誠」の状態にしておきましょう、ということです。常に「誠」の心の状態であれ、とうことですから、あらゆるときに、という意味になりますが、私は、大きく分けて、2通りあると考えています。1つ目は、自分自身に対する誠、2つ目は、他人に対する誠です。

まずは、自分自身の在り方や生き方に対して、誠であれ、ということです。私は、この世のすべての人が、それぞれに、なんらかの事をなすために、生まれてきていると信じています。皆さんの中には、自分の夢や目標がすでに決まっている人がいるかもしれませんが、大部分の人は、定まっていないのではないのでしょうか。私は、それでいいと思います。ただ、自分の心の声に耳を傾けて、好きだと感じたり、何か使命感を感じたりしたら、そこに自分の未来とつながるヒントが隠れているかもしれません。自分の中の誠の声を信じて、自分の歩むべき道を選択してください。

皆さんは、今は未成年で、なかなか実感するのが難しいかもしれませんが、皆さんそれぞれが、自分の人生の主人公です。そして、自分の人生は、自分でデザインして、自分で切り開いていくべきものです。皆さんは、自分の人生の主導権を握る必要があるのです。それを実現するためにも、自分の中に誠の心を持ち、自分が本当に何を求めているのか耳を傾けることが大切です。

次に、もう一つの「至誠一貫」、他人に対する誠です。これは、校訓の一つである「協同一致」にも通じることで、ここで一緒に、お話したいと思います。人間誰しも、自分が一番かわいいものです。それは当たり前なことであり、自分が一番であるべきだと思います。でも、自分のそばにいる誰かが困っているとき、悩んでいるとき、頑張っているとき、自分自身に誠実であると同じくらい、他人に対しても誠意を尽くし、協力する努力をしていただきたいと思います。なぜなら、他人に対して、心をこめて誠意を尽くして協力すれば、その人を助けることになるだけでなく、その清い心は回り回って、いつか自分が助けを必要とするときに、他人が自分を助けてくれることになるからです。これは、とても不思議なことですが、本当のことです。

いつも、どんな人に対しても、ポジティブに接し、誠実な心で、他人を助けていけば、他人から自分に対しても、ポジティブなものが返ってきます。逆に言えば、自分から他人に対して、ネガティブな

ものを発すれば、自分に対してネガティブなものが戻ってきてしまいますので、常にポジティブな心で、他人と接することを忘れないようにしましょう。

最後に、「規律厳守」についてです。「規律」とは、「集団生活や社会生活において、人間の行いの規準となるもの」です。私たちは一人で生きている訳ではなく、人と関わり合いながら生きています。そんな中において、「規律」とは、みんなが生活する上で、おたがいに気持ちよく生活できるように、定めてきたものです。

具体的に、皆さんの学校生活の規律としては、「生徒手帳」に定められている「生徒心得」に則り、高校生としての「良識や品位」を守り、礼儀正しく、美しい態度をとるように心がけてください。そうすれば、社会に出たときにも、しっかりとルールを守れる立派な人間になれることでしょう。そして、規律を守ることは、他人に迷惑をかけないように行動すること、他人への思いやりにつながります。

本日は、「至誠一貫」、「協同一致」、「規律厳守」という3つの校訓についてお話させていただきました。皆さんそれぞれが、改めて校訓について考え、ぜひ行動してください。